

## I. 上位計画における位置づけ

藤沢市が保有する公共施設の半数近くが築 30 年を超えており、今後、次々と施設更新を迎えることになる一方、生活保護費をはじめとする扶助費等の増大により、公共施設の更新に必要な投資的経費の確保が困難となってくる中、継続的な行政サービスの提供を可能にする公共施設の再整備の基本的考え方を「①安全性の確保」「②長寿命化」「③機能集約・複合化による施設数の縮減」の3つの視点で整理し、「藤沢市公共施設再整備基本方針／2014（平成 26）年 3 月」として定めています。

これを踏まえ、「藤沢市立学校施設再整備基本方針／2015（平成 27）年 3 月」に基づいて 2016（平成 28）年 2 月に策定された「藤沢市立学校施設再整備第 1 期実施計画【平成 28 年度～平成 32 年度】」において、鵠南小学校は、主要校舎棟・屋内運動場棟ともに耐力度調査の評点が低く、機能面においても必要面積が不足するとともに、津波浸水予測エリア内に位置しており、近隣の保育園や児童クラブとの一体整備による津波避難対策の必要性及び緊急性が高いとして、事業優先度が最も高いランクに位置づけられています。

同実施計画では、鉄筋の腐食や構造体のクラック等も多く確認されるなどといった施設の状況を踏まえ、全面改築による整備を行うものとし、改築にあたっては、津波避難対策の観点から仮設校舎による対応が難しいため、既存校舎棟や屋内運動場、給食調理室を使用しながら、現状のグラウンドに新施設を建設し、新施設の供用開始後に既存施設を解体する手法が望ましいとしています。

また、当該校の近隣に位置する浜見保育園とよつば児童クラブについて、津波対策や他機能施設との複合化を推進する観点から、両施設と一体的に整備するものとしています。

鵠南小学校等再整備事業は、これらを受け、施設の老朽化に伴う鵠南小学校の改築にあわせ、津波避難対策に課題がある浜見保育園及びよつば児童クラブの合築・複合化による、一体的な整備を行うものです。

本基本構想においては、これらの基本的事項を踏まえるとともに、関係者や近隣住民等のご意見を伺いながら、施設整備の基本コンセプトや施設配置等について検討を行うものとします。

